様　式　集

研究者・研究機関部門

様式1

請　　書

　　年　　月　　日

　　公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　連絡担当者

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

　　　助成番号　　 ：2023-　　　-

　　　助成事業名　 ：

　　　助成金決定額 ：　　　　　　　　　円

　　　上記の助成事業については、決定通知書の内容を遵守し、申請書、「河川基金助成事業 実施の手引き」等にしたがって誠実に実施いたします。

様式3

前金払い請求に関する書類





◆ご希望のボタンに印をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 助成番号 | ２０２3－ |
| 助成者氏名（代表者） |  |
| 助成事業名 |  |

振込先口座情報

※通帳の「銀行名」「支店名」「口座名義」「口座番号」が記載してあるページのコピー

を貼付

・一般研究者（個人）で申請の方は申請者の口座

・一般研究者（個人）の申請の方で「助成金を大学等へ直接振り込むことについての

確認書」を提出した場合は所属機関の口座

・機関申請の方は申請時の機関名称が記載されている口座

※指定金融機関は原則「銀行（信用金庫・信用組合・農協・ゆうちょ銀行含む）」で

お願いします。

**注）提出期限は4月30日です**

■2022年度助成を受けられている方

成果報告書の提出状況

|  |  |
| --- | --- |
| 助成番号 | ２０２２－ |
| 成果報告書 |  |
| 未提出の場合 | 月　　　日頃に提出予定です |

* 2022年度成果報告書が未提出の場合、前金払いのお支払いはできません。
* 2022年度成果報告書が未提出の場合は、成果報告書が提出された後に手続きを開始いたします。

様式4

請　求　書（前金払い）

　　　￥

　　ただし、「　　（助成事業名）　　　　　　　　　　　　　　　　　」代金

　　　　　　　助成番号：2023- -

　　　上記のとおり請求します。

年　4月　　日

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

様式5

（研究機関）（所属機関が記入）

年 月　　日

振込み依頼書

公益財団法人　河川財団

理事長　小俣　篤　殿

申請した研究機関の名称(a)

研究機関　代表者職名

研究機関　代表者名　　　　　　　　　　　　　機関印

助成番号：2023- -

助成対象：研究機関

助成事業名：

助成金決定額：　　　　　円

上記の助成事業について、この助成金が研究機関(a)に対する研究助成であることを確認するとともに、指定の口座へ助成金の振り込み手続きを行うことを承諾し、振込手続きを依頼いたします。

記

1. 本助成金は助成対象研究者本人の研究計画のために使用する使途指定の助成である。
2. 間接経費（大学の事務処理経費）の徴収を行うことはない。
3. この助成金は大学への寄付ではないので、「寄附申込書類」の提出は必要ない。

以上

様式6

助成金を大学等へ直接振り込むことについての確認書

年 月　　日

公益財団法人　河川財団

理事長　小俣　篤　殿

助成事業者　所属機関名

所属機関　代表者職名

所属代表者名　　　　　　　　　　　　　　　印

助成事業者　職　名

助成事業者　氏　名　　　　　　　　　　　　印

助成番号：2023- -

助成事業名：

助成金決定額：　　　　　円

上記の助成事業について、この助成金が、助成事業者個人に対する研究助成であることを確認するとともに、下記の項目に同意し、別紙の当校指定の口座に直接入金していただくことをお願いいたします。

記

1. 本助成金は助成対象研究者本人の研究計画のために使用する使途指定の助成である。
2. 間接経費（大学の事務処理経費）の徴収を行うことはない。
3. この助成金は大学への寄付ではないので、「寄附申込書類」の提出は必要ない。

以上

事業者等変更届

様式7

年　　月　　日

　公益財団法人　河川財団

　理 事 長　 小俣　篤 　殿

　　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　連絡担当者

　　　　　　　　　　　ＴＥＬ

　　　助成番号　：2023-　　　　-

　　　助成事業名：

上記の助成事業は、　　　　年　　月　　日に助成事業者（申請者）、

連絡担当者、住所等が変更となりましたので報告いたします。

・助成事業者（申請代表者名）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 変更前 | ふりがな  申請者氏名 |  |
| 変更後 | ふりがな  申請者氏名 |  |

・住所、所属

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 変更前 | 住所、所属 |  |
| 変更後 | 住所、所属 |  |

　　・E-mail、電話番号

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 変更前 | E-mail、℡ |  |
| 変更後 | E-mail、℡ |  |

・連絡担当者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 変更前 | ふりがな  氏　名 |  | | |
| 職　名 |  | TEL |  |
| E-mail |  | | |
| 変更後 | ふりがな  氏　名 |  | | |
| 職　名 |  | TEL |  |
| E-mail |  | | |

※所属が変更になった個人研究者の方は新しい所属の在籍証明書を一緒に提出してください、

様式8

辞　退　届

　　年　　月　　日

　公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　連絡担当者

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

　　　助成番号　：2023- -

　　　助成事業名：

　　　辞退理由　：

様式9

河川基金助成事業実績（完了）報告

　　年　　月　　日

　　公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　連絡担当者

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

　　　助成番号　：　2023- -

　　　助成事業名：

　　　上記の助成事業は、　　年　　月　　日に完了いたしましたので、下記書類を添えて報告いたします。

記

１．成果報告書

２．概要版報告書

３．自己評価シート

４．助成金に関する決算報告書(添付書類として領収書類コピー)

５．請求書(完了払いの方)

６．アウトリーチ活動実施状況（アウトリーチの方は必須）

７．参加者リスト（アウトリーチの方は必須）

８．河川基金ロゴ等表示状況写真

９．購入機器、物品等 写真

１０．１～９までの電子データ

様式10-1

（報告書表紙見本）：「研究者・研究機関」部門

河川基金助成事業

「○○○○○連成解析法による河川堤防の

安全性照査手法の開発」

助成番号：2023‐○○○○‐○○○

12ポイント

○○大学大学院○○研究科

職 名 　　　　氏 名

「機関」による助成研究の場合は、下記のように「機関名」と「代表者名」を併記してください。

機関名：（一社）○○○○研究所

12ポイント

代表者名：○○○○

2023年度

20ポイント

様式10-2

（成果報告書記載例）：「研究者・研究機関」部門

1. はじめに

出水時の大河川の既存の堤防は極めて脆弱であり、その強化は緊急の課題である。洪水

時の堤体の安全性照査は、浸透解析による動水勾配と法面のすべり安全率によっており、

なおかつ、経験と実験に基づき、裏のり、表のりの破壊とパイピング破壊について別々に

基準値を設けているのが現状である。しかしながら、浸透、越流、パイピングあるいは地

震時の液状化も、○○○○○○～

○○○○○○～、裏のり面の崩壊過程を明らかにする。また、代表的な堤体の強化工法の

安全性評価を行い、総合的な堤防安定評価手法の構築を目指す。

キーワード：

２．○○○多相系の○○○連成解析法の開発

2.1 多相連成変形解析法の開発

不飽和地盤の変形を数値解析によって予測する際には、水圧変化のみならず空気圧変化

の考慮が重要となる。不飽和地盤の変形を支配する○○○○○○～

○○○○○○～を行う。三相混合体として定式化を行うため、気相に対してもダルシー型

の相互作用関係式を適用し、固相と気相の相互作用を考える。

2.2 多相系地盤における支配方程式の定式化

多孔質媒体理論に基づき、気相の連続式を加えて三相混合体における支配方程式を

定式化した。さらに、○○○○○○～

○○○○○○～、間隙水圧および間隙空気圧には4 節点アイソパラメトリック要素を用い

るものとした。

2.2.1 多相地盤材料における体積含有率の概念

○○○○○○～○○○○○○。

2.2.2 ○○○○

○○○○○○～

３．堤防盛土の変形解析

様式11-1

（研究レポート表紙見本）：「研究者・研究機関」部門　ジュニア研究者

河川基金助成事業

研究レポート

「○○川の水質と生物の関係を調べよう」

助成番号：2023‐○○○○‐○○○

12ポイント

○○県立○○高等学校

○○部

「クラブ(部)活動」による助成研究の場合は、下記のように「学校名」と「代表者名」を併記してください。

学校名：○○県立○○高等学校

12ポイント

校　 長：○○○○

顧　 問：○○○○

部　 長：○○○○

2023年度

20ポイント

様式11-2

（研究レポート記載例）：「研究者・研究機関」部門（ジュニア研究者）

1. 研究の目的

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　～

1. 研究の動機
2. 研究の方法
   1. 水質の調査方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　～

* 1. 生物の調査方法
     1. 魚類の調査

(1)ガサガサ調査

1. 結果
2. 考察
3. まとめ
4. 謝辞
5. 引用・参考文献

様式12-1

1. 研究者・研究機関部門　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[概要版報告書]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023-0000-000 | |  | （所属・氏名（申請者名）を必ず記入してください） |
| 助成事業の要旨 | 〔目　的〕  （事業・活動を行う目的、意義、効果等を簡潔に記述してください。）：この説明文は、削除して記入してください。以下同じです。  〔内　容〕  （事業・活動の実施方法、内容について簡潔に記述してください。）  〔結　果〕  （得られた主な結果や成果およびそれによって期待される効果、今後の展望等について簡潔に記述してください。） | | |

様式13-1

２.研究者・研究機関部門　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[自己評価シート]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023-0000-000 | |  | （所属・氏名（申請者名）を必ず記入してください） |
| 助　成　事　業　実　施　成　果　の　自　己　評　価 | 〔計画の妥当性〕  （テーマの設定、研究テーマのニーズの把握、研究体制の規模、計画・実施の規模等について、妥当であったかどうかを記述してください。）：この説明文は、削除して記入してください。以下同じです  〔当初目標の達成度〕  （当初目標設定の妥当性、達成された目標、達成されなかった目標および今後の課題等について記述してください。）  〔研究の成果〕  （成果の具体的な活用予定、河川整備等への具体的な効果、学会や論文集への発表・投稿予定等を記述してください。）  〔河川管理者等との連携状況〕  （当該事業の実施にあたり、河川管理者などとの連携状況、効果等について具体的に記述してください。） | | |

様式14

２.研究者・研究機関部門（アウトリーチ活動）　 　　　　　　　　　　　　　　　[自己評価シート]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023-0000-000 | |  | （所属・氏名（申請者名）を必ず記入してください） |
| 助　成　事　業　実　施　成　果　の　自　己　評　価 | 〔活動計画の妥当性〕  （活動の目的を踏まえて計画した活動内容、方法、実施時期等が妥当であったかどうかを記述してください。）：この説明文は、削除して記入してください。以下同じです  〔目標の達成度〕  （一般市民や次世代を担う生徒等の参加状況の観点からの目標達成状況および今後の課題等について記述してください。）  〔活動の成果〕  （河川に関する調査・研究成果の普及を図り川づくりに貢献するという観点からの活動成果および今後の課題等について記述してください。）  〔過年度からの進歩・発展〕（過年度（過去５年以内）にも採択されている場合に記載）  （活動内容や成果について、過年度から進歩、発展させることができた内容について記述してください。） | | |

様式15

２.研究者・研究機関部門（ジュニア研究者）　　　　　　　　　　　　　　　　　[自己評価シート]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023-0000-000 | |  | （所属・氏名（申請者名）を必ず記入してください） |
| 助　成　事　業　実　施　成　果　の　自　己　評　価 | 〔計画の妥当性〕  （テーマの設定、成果を得るまでのプロセスや実施時期、実施体制、実施規模等について、妥当であったかどうかを記述してください。）：この説明文は、削除して記入してください。以下同じです  〔研究目標の達成度〕  （当初設定した目標に対する達成度（目標設定の妥当性を含む）、川づくりへの活用への可能性及び今後の課題等について記述してください）  〔生徒の研究能力育成の成果〕  （生徒の主体性、自発的取り組み、自由な発想を生かした取り組みなど生徒の研究能力育成のために行った取り組みとその成果及び今後の課題等について記述してください。）  〔研究発表会等への参加の状況〕  （研究成果について、生徒が研究会等で発表を行った場合は、その状況とジュニア研究者として見られた成長等を記述してください。） | | |

様式16

３．研究者・研究機関部門（アウトリーチ活動助成）　　　　　　**［アウトリーチ活動実施状況］**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023-0000-000 | |  | | （所属・氏名（申請者名）を必ず記入してください） |
| アウトリーチ活動の実施状況 | 主な実施箇所 |  | | |
| ※アウトリーチ活動において一般市民の参加を促すために特に工夫をした点とその結果について記載してください。 | | | |
| 河川基金ロゴ等表示状況写真 | 遠景 | | 近景 | |
|  | |  | |

様式17

４．研究者・研究機関部門（アウトリーチ活動助成）　　　　　　　　　　　　**［参加者リスト］**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **所　属** | **役　職** | **氏　名** | **年齢** |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |
| 21 |  |  |  |  |
| 22 |  |  |  |  |
| 23 |  |  |  |  |
| 24 |  |  |  |  |
| 25 |  |  |  |  |
| 26 |  |  |  |  |
| 27 |  |  |  |  |
| 28 |  |  |  |  |
| 29 |  |  |  |  |
| 30 |  |  |  |  |
| 31 |  |  |  |  |
| 32 |  |  |  |  |
| 33 |  |  |  |  |
| 34 |  |  |  |  |
| 35 |  |  |  |  |

様式19

請　求　書（完了払い）

　　　￥

　　　ただし、「　　（助成事業名）　　　　　　　　　　　　　　　　」代金

　　　　　　　助成番号：2023- -

　　　上記のとおり請求します。

　　年　　月　　日

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

様式19-2

助成番号　:2023-○○○○-○○○

|  |
| --- |
| ※通帳の「銀行名」「支店名」、「口座名義」、「口座番号」が記載してあるページのコピーを貼付 |

（注）指定金融機関は、原則「銀行」でお願いします。（含む、信用金庫・信用組合・農協・郵便局）様式20

河川基金による購入機器、物品等 写真

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成番号 | | 助成事業名 | | 所属・助成事業者氏名 |
| 2023- - | |  | |  |
| 費目 | 遠景（全体） | | 詳細  (ロゴマークシールの貼付状況が判読できるもの） | |
| No. |
|  |  | |  | |
|  |
|  |  | |  | |
|  |
|  |  | |  | |
|  |

様式21

河川基金助成事業に関するアンケート

河川基金助成事業に関する意見・要望等をお伝えください

1. 助成対象等に関する意見・要望

助成対象者、対象テーマ、対象活動、助成金額、助成期間などについて

1. 申請～採択までの手続きに関する意見・要望

申請項目、内容、添付書類などについて

申請～採択決定通知までの時期、方法、WEB申請手続きシステム、ご利用マニュアルなどについて

1. 活動開始～成果報告書提出までの手続きに関する意見・要望

請書・執行計画書、成果報告、決算報告、実施の手引きなどについて

助成金の支払い（前金払い、完了払い）方法などについて

1. その他

感想や提言など

※より一層皆様のお役に立てる河川基金助成事業に改善を図っていきたいと考えております。

率直なお声をお聞かせいただければ幸いでございます。

※頂いたご意見・ご要望等は河川基金助成事業改善以外の目的では使用しません。

様式22

事 故 等 届

　　年　　月　　日

　　公益財団法人　河川財団

　　理 事 長　 小俣　篤 　殿

　　　　　　　　助成事業者

　　　　　　　　　　所属機関･団体名

　　　　　　　　　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　氏　　名

　　　　　　　　　　連絡担当者

　　　　　　　　　　ＴＥＬ

　　　助成番号　：2023- -

　　　助成事業名：

　　　届出内容　：